

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	北条（四条畷駅周辺）地区都市再生整備計画	
計画の期間	平成30年度～令和03年度（4年間）	重点配分対象の該当
交付対象	大東市	
計画の目標	<p>（大目標）ココロもカラダも幸せに暮らせるまちの創出 （目標1）市営住宅の建替えを契機とした公民連携によるまちづくりにより、魅力あるまちを創出することで、地域の定住人口の維持及び交流人口の増加を図る。</p>	
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	348 A 348 B 0 C 0 D 0 效果促進事業費の割合C／(A+B+C+D) 0 %

番号	定量的指標の定義及び算定式	計画の成果目標（定量的指標）		
		定量的指標の現況及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	計画区域内人口 住民基本台帳に基づく計画区域内（北条3丁目、4丁目、学園町、錦町、北新町）の町丁目の人口	H29 2,227人		R3 2,227人
2	鎌池公園（（仮称）鎌池広場）の利用者数 1日あたりの利用者数	30人/日		60人/日
3	鎌池公園（（仮称）鎌池広場）で実施するイベント等の来訪者数 1年あたりのイベント等による来訪者数	0人/年		1,000人/年
4				
5				
6				

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靭化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
・事業課が主管課となり、事業に関わる関係課による事業成果を整理を行った。（庁内の横断的な組織編成）また、今後の整備施設の利活用については、民間も交えた組織編成を行った。 ・学識経験者、商工会、地元企業、区長、一般公募等により構成する事後評価委員会を設置し運用。	令和4年度
	公表の方法 ホームページ掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関する 交付対象事業の効果の発現状況	・広場の整備により良好な景観が形成されたとともに、広場を活用したイベントが開催され、まちの魅力の向上、賑わいの創出が図られた。 ・北条12号線の整備により、円滑な移動を確保したとともに、安全性が向上した。 ・権現川沿いの遊歩道により、水辺に親しみを持てる空間を確保した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	・鎌池公園や道路整備に伴い、周辺店舗が町に調和した外装へリニューアルするなど、周辺にも影響がみられた。 ・鎌池公園の整備により、周辺高校等の発表の場として利用されるようになった。

○特記事項（今後の方針等）

- ・民間事業者（株式会社コーミングや、株式会社ノースオブジェクト、株式会社ソトアソなど）が主体となり、引き続きイベント開催や、広場空間等の利活用を進める。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	計画区域内人口		計画区域内人口は、全国的にみられる人口減少の進行に伴い、従前値を維持するという目標達成には至らなかった。しかし、鎌池公園の整備や拡幅工事等の周辺道路整備により、安全・安心な広場・道路環境を創出したことなどで、策定当初から減少傾向にあった人口は、令和3年から増加傾向に転じており、事業の効果がうかがえる。
	最終目標値	2,227人	
2	鎌池公園（（仮称）鎌池広場）の利用者数		
	最終目標値	60人/日	広場や歩道の整備により良質な景観の広場空間が確保されたとともに、道路整備による円滑な移動が確保されたことで、地区のイメージが向上し、目標達成に至った。
	最終実績値	162人/日	
3	鎌池公園（（仮称）鎌池広場）で実施するイベント等の来訪者数		
	最終目標値	1,000人/年	もりねきそとあそび推進協議会などが定期的なイベントを企画しており、当初設定した目標値を大きく上回る結果となった。また、6,009人という来場者数は2日間の1企画の結果であり、その後もイベントは開催されていることから、数値以上の来場が得られている。
	最終実績値	6,009人/年	
4	最終目標値		
	最終実績値		
5	最終目標値		
	最終実績値		
6	最終目標値		
	最終実績値		